

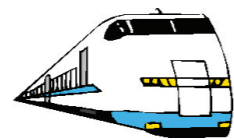
津波から身を守る

津波は、高知市では揺れ始めから、早いところで約10分程度、中心地には約20分程度で押し寄せ、その高さはおよそ3~6メートルと言われています。また、南海地震の津波による死者は、全体の約7割に想定するといわれています。ここでは【津波から身を守る】方法を学びましょう。



【津波の特徴】

- (1)津波の速度 津波は水深が深い程早く水深1000Mでは時速360キロ、陸地近くの水深10Mになると45キロ程になります。海岸で津波が見えてからでは逃げ切れません。
- (2)津波は引き潮(引き)が始まるとは限りません。いきなり襲ってくる(押し)場合もあります。
- (3)津波の破壊力はすさまじくたとえ膝上の高さでも、人は立ってられません。
- (4)第1波が最も大きいとは限りません。
- (5)津波は何回も襲ってきます。津波警報・注意報が解除されるまで油断できません。
- (6)湾の奥や岬の先端では極端に高くなります。
- (7)引き波は流れが強く、沖に流されます。



【津波避難のポイント】

- (1)100秒程の大きな揺れがおさまったら
- (2)津波警報や津波注意報の発表を待たず、身一つ(非常持ち出し品を持って)で、とにかく急いで!!
- (3)近くの高台へ早く逃げましょう。高台がない場合は、鉄筋コンクリートの建物なら3階以上の高さに逃げましょう。車で避難は、渋滞に巻き込まれたり落下物に衝突したりして逃げ遅れる可能性があるため、車を使わず逃げましょう。
- (4)津波は繰り返し襲ってきます。安全なところに避難したら、津波警報の解除を確認するか少なくとも6時間は戻らないようにしましょう。

【3階以上のRC造の建物・丘の上】



【津波からの緊急避難標識】

災害避難場所一覧



命を守るための7つのチェックリスト

あなたは何個できていますか？
自分を守る為に日頃から意識を高め、チェックしておきましょう！

- 災害用伝言ダイヤルもしくは伝言板の使い方を知っている。
- 家具の配置の見直しや転倒防止、ガラスの飛散防止をしている。
- 地震後の集合場所や緊急の連絡先、連絡方法を家族と話し合い、決めている。
- 住んでいる地域の避難経路、避難場所を知っている。
- 枕元に、懐中電灯、携帯ラジオ、靴等を必ず置いて寝ている。
- 水・食料は3日分以上備えている。
- 地域の防災活動に参加している。

安否確認

【伝言ダイヤル171/災害用伝言板】
運用条件:震度6弱以上の地震が発生したとき、災害用伝言ダイヤルサービスや災害用伝言板サービスは、稼働します。サービスの通知はテレビ・ラジオ・携帯サイト・WEB等で通知されます。災害時以外にも、体験利用日が設定されています。一度ご家族、親族、友人と一緒に利用して実際の災害に備えましょう。

- ★固定電話 災害発生時にはNTTの災害用伝言ダイヤルサービスが稼働します。番号:171【いない?】と覚えましょう。
- ★携帯電話 各携帯サイトの伝言板を利用して、メッセージを登録、被災地の方の安否の確認ができます。
- ★インターネット インターネットを利用して被災地の方の安否確認を行う伝言板です。WEB171で検索。

地震から身を守る

地震発生!
地震が発生したと仮定して、どうすればいい考えましょう

① 揺れから身を守る

【部屋にいたら】

丈夫なテーブルの下などに隠れ、慌てて外に飛び出さないように!
出入口を確保するために、窓やドアは開けて、テーブルの足をしっかり持って隠れましょう!



【海や川の近くにいたら】

津波がくる可能性も考えて、すぐに高台を目指して逃げましょう。津波は川も上ってきます。

【車の中にいたら】

ゆっくり減速し、左側路肩に停車し、エンジンを停止しましょう。トンネルの出入り口付近等は崩落の危険がありますので、できるだけその場を避けて停車。エンジンキーはつけたまま、ドアはロックせず車を離れて安全な場所へ移動しましょう。



【エレベーターの中にいたら】

地震感知装置が付いているエレベーターは、近くの階で自動的に止まるようになっていますが、付いていないエレベーターの場合、すべての階のボタンを押し、止まった階で降りましょう。



【街中にいたら】

落下物に注意し、持ち物で頭をかぶりしながら、身を守る場所に逃げましょう!ブロック塀などは倒れてくる恐れがありますので、すぐに離れましょう!

【出火をした場合】

揺れている間に火を消そうとすると危ないので、揺れが収まってから火を消すようにしましょう!落ちていて、家庭用消火器などで消化しましょう。

② 避難する

揺れが収まったら、近くの避難場所へ逃げましょう
その時は、身軽に避難できるように、避難に必要な物品、貴重品を持ち出ししましょう!

日頃から、
避難に必要な荷造りをしておきましょう!

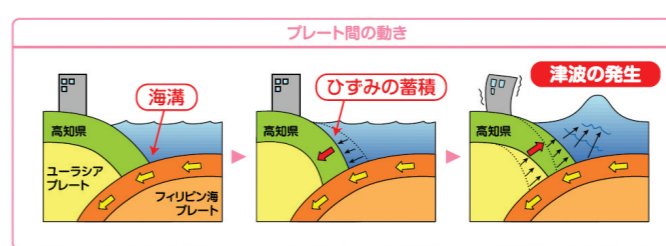


図1 プレートの動き
高知県発行:よくわかる「南海地震対策」のしくみより

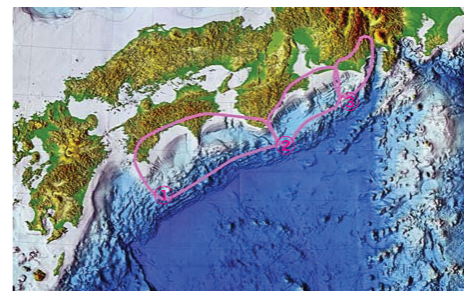


図2 南海トラフ周辺の震源域
岡村上研HP「南海地震に備える」より

	発生年	(地震の規模)
白鳥大地震	684年	M8.4
仁和大地震	887年	M8.5
康和大地震	1099年	M8.3
正平大地震	1361年	M8.5
慶長大地震	1605年	M7.9
宝永大地震	1707年	M8.4
安政南海地震	1854年	M8.4
昭和南海地震	1946年	M8.0

図3 南海地震発生年代
高知地方気象台HPより作成

図4 五台山から見た高知市街
高知県発行:南海地震に備えよきより
昭和南海地震直後



現在

図5 津波浸水深図
高知県危機管理部 南海地震対策HPより



最終防衛ライン施設等が無いとした場合

特集

今、はじめよう

～震災に備えた第一歩～

編集=新谷 洋二 青野 裕子 茂木 健治

◆南海地震とは

四国の沖合い150km~200kmに、海側のフィリピン海プレートが陸側のユーラシアプレート下に沈み込んでいる場所があり、水深約4000mのなだらかな海溝で、「南海トラフ」と呼ばれています。図1、2。この南海トラフ付近を震源とする大規模な地震を南海地震と呼びます。
南海地震は、世界で最も長い期間歴史に記録されてきた地震として有名で、古くは684年の記録があり、文献や遺跡の発掘調査によって、概ね100年から1500年の間隔でマグニチュード8を超える巨大地震が繰り返し発生してきた事が知られています(図3)。
過去の記録から、紀伊半島東部沖を震源とする「東南海地震」と連動して発生することも知られています(図3)。

◆予想される被害

地震の被害は、地震の規模(マグニチュード)、発生場所(震源の深さ・震源までの距離、時間帯朝日中深夜など)、遭過場所(屋内・屋外、乗物内)が多い施設などにより程度が異なりますが、大きく分けると、「揺れ」と「浸水」による被害、「地震後」の被害に分けられます。
1 揺れによる被害
地震の揺れ方は、震源までの距離、その地域の岩盤の固さ、建物の構造などによって異なります。南海地震では、過去の事例から、震度5強から震度6強(場所によっては震度7)の揺れが2分程度続くことが想定されています。屋内では家具の転倒や落下!建物の損傷、屋外では道路の損傷や土砂災害・看板・ガラス、瓦、塀などの落下・倒壊などが考えられます。

2 「浸水」による被害

南海地震発生後には、地盤沈下と津波の到来が考えられます。1mの地盤沈下と1mの津波が重なると、2mの高さまで水に浸かる事になります。昭和南海地震では、1m前後の地盤沈下が起こり、市内の広い地域が水没し、1ヶ月近く水が引かなかったようです(図4)。
高知市街でも3m前後の津波が予想されており、満潮時は更に高くなります。高知市沿岸部では地震発生から10分以内、高知市街でも15分~20分程度津波が到来する考えられています(図5)。

3 「地震後」の被害

地震の発生後には、電気水道・ガスなどの供給停止、通信・交通の遮断、水没地域の拡大、火災の発生、液化化現象や土砂災害、強い余震による二次災害などが考えられます。
また、道路や鉄道、港湾が被害を受けると、県外からの救援や食料・衣類・薬品などの物資の供給が滞り、避難場所以外での情報の確保が困難になるなど、孤立する人や地域が生じる可能性があります(図6)。

SUMIYOUは、高知に住みゆう、人と街とのつながりを応援します。

アパマンショップ 高知中央店
〒780-0870 高知市本町5丁目3-3
TEL 088-824-6811(代表) FAX 088-824-6815
info@kochihouse.co.jp

アパマンショップ 高知駅前店
〒780-0056 高知市北本町2丁目2-17
TEL 088-878-1122(代表) FAX 088-878-1160
ekimaeten@kochihouse.co.jp

アパマンショップ 高知宝永店
〒780-0817 高知市中宝永町4-18
TEL 088-880-1033(代表) FAX 088-880-1088
houeiten@kochihouse.co.jp

My one Culture vol.3
原子炉時限爆弾
広瀬 隆 (著)

「赤い盾」「世界石油戦争」等で知られる著者の作品。日本列島の形成過程から発電所の構造のほか、膨大な資料や事実に基づき、原子力発電の様々な問題点を指摘。深刻な原発事故が起きてしまった今こそ、事実を知った上で、私達一人一人が「将来の世代に何を残していくべきか」を考える必要があるのでは?と感ずます。

高知中央店 茂木 健治
お客様へ一言
災害の発生は避けられませんが、被害を少なくすることは可能です。正しい知識と日頃の準備を心がけましょう。

本誌におけるご意見・ご感想等、お気軽に、どうぞ。

株式会社 高知ハウス
http://www.kochihouse.co.jp/

STYLEのあるお部屋
www.kochihouse.co.jp